

## 令和2年度 八千代町総合教育会議 議事録

【日 時】令和3年2月25日（木）午後2時30分～

【会 場】八千代町役場 3階 庁議室

【出席者】

（構成員）野村町長、赤松教育長、関口教育長職務代理者、山田教育委員、  
染野教育委員、松村教育委員

（事務局）生井秘書公室長、小林教育次長兼学校教育課長、  
瀬崎生涯学習課長、関給食センター所長、田神指導主事、長堀指導主事、  
篠原主査兼係長、為我井主事、大久保主幹、大塚主幹

【議事内容】

### 1. 開 会

- ・午後2時32分 生井秘書公室長、開会を宣言する。

### 2. 挨 拶

- ・野村町長
- ・赤松教育長

### 3. 協議事項

（1）ICT活用計画について（説明：長堀指導主事）

《質疑・意見交換等》

**補足説明：赤松教育長**

本来、2023年までに整備が予定されていたものが、コロナの影響により、2021年に前倒しになり、茨城県では全学校で整備が完了する予定である。

文部科学省の構想としては、これからを生き抜く子供たちにとってICT教育は必要不可欠であり、学校教育に取り入れ、活用できる能力を身に付けさせることが狙いであり、そうした危機感を持っていた。

タブレットの導入が全てではないが、子供たちはおそらく抵抗感を持っていない。子供たちにはどんどん使わせていくことが大切で、教職員側が効果的な活用方法を考えていく必要がある。

1人1台ということは、一人ひとりの能力に合わせて個別化・最適化された学びを提供できることが大きなメリットである。

**野村町長**

子供たちにとっては、世界が夢のように広がる話で、今後はこうした分野に特化した生徒が出てくるだろう。国が13兆円をかけた成果が出れば、大変な取り組みになると思う。

**質疑 1：関口教育長職務代理者**

ICT化が進む中で、子供たちはすぐに慣れてしまうと思うが、子供たちが暴走する危険性を考え、管理をしっかりしなければならないと思う。

**回答 1：赤松教育長**

ただ子供たちに与えるだけではなく、指導者がしっかりと理解し、発達段階に合わせた課題やゴールを設定し、指導していくことが重要であると考えている。

**質疑 2：松村教育委員**

アカウントの発行については、具体的にどのような形なのか。子供たちがアカウントの管理をすることに対しては怖い部分があり、ICT推進委員の方を中心に、管理の徹底やチェック体制の整備をしっかりとしたい。また、アカウントは卒業後も有効なのか。

**回答 2：長堀指導主事**

アカウントの取得については、教育委員会が代表してグーグル社に依頼し、個人ごとの番号、パスワードが発行される。原則として、本人のみに伝えるもので、他者に漏らしてはいけない。あくまで八千代町の公立学校にいる期間のみ有効なアカウントであり、卒業後は削除されることになる。

今後は、情報モラル教育や道徳教育により規範意識を高めていくとともに、家庭への情報モラル教育の啓発などを進めていく。こうした教育は一回で終わりではなく、継続して行っていく必要があると考えている。

**意見 1：染野教育委員**

過去に、各学校にプロジェクターやパソコンが導入された際には、自信のある先生は利用していたが、例えば年配の先生などは積極的に活用することはなかったように思う。

子供たちは問題ないと思うが、実際には先生の方が心配である。ICT支援員が月に2回各学校へ配置されるということだが、これを有効に活用し、先生方の不安を取り除くことで、効果的な授業が展開されることを期待している。

**(2) 教育関連施設の活用計画について（説明：教育委員会各課長）**

**補足説明：野村町長**

町の財政状況について、各指数は健全であるものの、経常収支比率が高く、町独自の新しい取り組みに使えるお金に余裕がない状況である。そこを改善するためにも、企業誘致やふるさと納税を推進し、財源確保を進めていく。

教育関連施設の整備には、大きな予算がかかることから、国や県にも出向き、財源を確保しながら、計画的に進めていく必要があると考えている。

**質疑 1：山田教育委員**

これから児童生徒数が減少していく中で、学校の統廃合という議論があるが、色々な世代の意見を聞いたうえで進めて欲しい。

**回答 1－1：野村町長**

学校に関することは、自分のふるさとに関することであり、皆さんの想いや感情が強いということは認識しており、アンケート調査や分析、聞き取りにより、慎重に進めていく必要があると考えている。

**回答 1－2：赤松教育委員長**

今現在、県内で義務教育学校、小中一貫校が10校存在する。メリットとして、教育課程を柔軟に組むことが可能である。一方で、小中の節目がなくなることや、学校が広域化・巨大化することによりスクールバスの運行にも多大な経費がかかる、運動会が開催できないなどのデメリットも存在することは考えなければならない。

学校は地域のシンボルであり、教育のセンター的役割を果たしており、人数が減ったからといって、すぐに統廃合という訳にはいかない。地域の理解、保護者の理解が必要で、早い段階から議論をし、丁寧に慎重に準備を進めていくことが重要であると考えている。

**質疑 2：関口教育長職務代理人**

小学校の校舎が築50年を過ぎており、建て替えの時期であると思うが、少子化の現状を考えると、統廃合についても議論を進めていかなければならない時期でもあると思う。

**回答 2－1：赤松教育長**

小学校は全て耐震補強工事が完了しており、校舎は古いが使用には問題ない状況である。

**回答 2－2：野村町長**

川西の地区座談会の時にも、統廃合は時間がかかることで、早目に準備を進めていくことが重要であるとの意見を頂いた。

人口減少の推計については、何の手立てもしなければこうなるというもので、少しでも歯止めをかけられるよう、取り組んでいく。

その他、意見はなし。

**4. 閉 会**

- ・午後3時45分 生井秘書公室長、閉会を宣言する。